

# 20年11月世界市場サマリー

株式会社LOGOSキャピタルパートナーズ  
代表 伊藤 武

## 11月末主要指標（前月末比）

ダウ工業平均	29,638.64 (+11.8%)
S & P 500指数	3,621.63 (+10.8%)
NASDAQ 指数	12,198.74(+11.8%)
日経平均	26,433.62(+15.0%)
米ドル対円	104.30(104.47)
ポンド対円	139.12(135.48)
ユーロ対円	124.52(122.21)
金	1,781.40 (-5.2%)

米大統領選挙は予想通りバイデン候補の勝利となりました。各州選出の選挙人投票では270票で過半数となるのに対し、バイデン候補は306票を確保、それに対しトランプ大統領は232票にとどまり、明瞭な差が生じました。しかし、激戦州では前回トランプ大統領が勝利したウィスコンシン州、ミシガン州、及びペンシルベニア州ではバイデン候補が僅差で勝利し、加えてジョージア州とアリゾナ州でも前回はバイデン候補がこれも僅差で勝ちとったのです。トランプ大統領は敗北を認めたことは生涯なく、今回も不正選挙を唱え、不正さえなければ自分の勝利だと豪語しています。しかしいずれの訴訟も不正を見出すことはできず、これらの州での再集計もほぼ票数は一致していました。明らかな敗北でありながら、驚くべきことは、ごく一部を除き共和党議員はトランプの訴えは彼の正当な権利だと、敗北を認めないことを容認しています。その背景には今回の選挙は過去最大の投票数となり、バイデン候補に対し600万票強少なかったもののトランプ大統領自身が過去最高の7300万票を獲得し、アメリカの分断を如実に露呈しています。しかもトランプ支持者は熱狂的でほぼ3/4が彼の勝利を今なお信じています。各州の選挙人選出は一週間後に控え12月14日が採票日ですので、トランプ大統領は勝利を主張続けながらも投票で負ければホワイトハウスから退去することに同意しました。政権移譲の手続きにもようやく同意しています。先週は米共通役務庁長官が政権移行に必要な公文書や資金提供実施を開始しました。任期終了までに多くを実行するとの宣言通り、トランプ大統領はやりたい放題に転じています。エスパー国防長官を突如解任し、ポンペオ国務長官はイスラエルの西岸パレスチナ入植地を公式訪問し、その後

極秘裏にサウジアラビア皇太子とイスラエルナタニエフ首相の会談に参加しています。イラン核開発の指導者である科学者が殺害され、イスラエルに容疑が掛けられています。アメリカの同意があったと推測されています。それ以外にオープンスカイ協定からの離脱も実施。国内的には公務員の職務保証の取り下げ、長らく順守されてきた野鳥保護規定の撤回、アラスカの野生動物保護地区での石油掘削権譲渡、100年来の死刑囚10名の死刑執行等枚挙に暇ありません。10月には押し目となった世界株式市場は大統領選挙を経て、高値を更新続けています。バイデン候補は今回の選挙は共和党や民主党の党派ではなくアメリカ国民の勝利だと宣言し、分断から一体化をもたらす公約を訴えています。4年間波乱のトランプ政権後政治の正常化を市場は期待し歓迎していると推測されます。バイデン氏が既に発表した次期主要人事は中道派向けで手堅いとの評価です。同時に保守派が懸念している民主党左派支配もないとの観測が有力となっています。選挙前に観測されたいわゆるブルーウェーブの民主党圧勝は全く実現しませんでした。上院はジョージア州の決戦投票2議席を控えています。共和党は既に半数の50議席を確保し、下院は民主党支配ながら、議席数は9議席を失っています。保守勢力は、ねじれ議会でバイデン次期大統領が提唱する積極財政は妥協を強いられることを期待し、金融界では強気発言が目立っています。株価が高値を更新する最中、コロナの第二波は世界で猛威を振っています。リモート生活でありながら巨大プラットフォーム企業は物流も支配し、個人消費の落ち込みは深刻化していません。ですが中国を除き第4四半期の世界経済は再び下降に進行することは必至でしょう。ワクチン使用が早期に開始されても普及には時間が掛かるのは必然でしょう。浮かれた市場も現実を認識始めると観測します。取り敢えず相場は一服することを予測します。

本資料は、株式会社LOGOSキャピタルパートナーズ（以下「当社」という）が情報の提供のみを目的として作成したものです。当社が提供する情報は十分信頼に足るものと信じておりますが、それを保証するものではありません。ここに掲げる過去の実績は必ずしも将来の動向を示唆するものでなく、実際の収益を確約するものではありません。記載された見解等の内容は全て作成時点でのものであり、今後予告なく変更されることがあります。この資料及びここに掲載された情報等の権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部若しくは一部を複製し、又その他の方法で配布することはご遠慮ください。